

教授 向谷 光彦（地盤環境研究室）



中国・紹興市；王羲之ゆかりの蘭亭にて

担当科目：土の力学系、防災系を（なんでも）担当しています。

先日もカムチャツカ半島で巨大地震が発生して日本にも津波が押し寄せました。また近年、毎年梅雨の長雨や台風の襲来で、ため池・河川の堤防や壊れて、たくさんの命が失われ、家や車などの財産が流されています。土の強さばかりでなく、土の中の水の透しやすさがきちんと評価されていないためではないかと考え、研究・開発に取り組んでいます。



・（たぶん）日本で一番精度よく、土の強さを調べられるマシーンを使って実験や研究ができます。

・屋外（現場）でも室内（実験室）でも、土の中の水の透しやすさを、精度よく短い時間（1時間内）で測ることのできるマシーンを考え、企業と一緒に商品開発しています。